■2027 年度Ｓ日程　卒業見込者特別入学試験「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

課題文の叙述を正確に読み取り、該当する内容をまとめることを求めている。また、課題文を参考として、各自の見解・分析力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。設問に即して整理された論理的叙述が求められる。

【解説】

１．解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、それに従った解答が求められる。誤字・脱字の多さも、採点基準に含まれる。

２．〔問〕について

（１）課題文の「第６章　最近のアメリカが考える『正しい戦争』」において、アメリカでは「自由」と「民主主義」を擁護するための戦争を正しい戦争とされる。

（２）課題文にあるとおりアメリカでは侵害に対する武力行使や人道的介入としての戦争などを問題として論争が行われている。課題文「序論　聖戦・正戦・合法戦争――『正しい戦争』とは何か――」では、正しい戦争というものを認めるか否かについては、肯定・否定及び条件付き肯定の立場があるとされる。課題文「むすびにかえて――『正しい戦争』の道徳性」での記述を参考として、視点を明確にした上で、分析・整理し、各自の見解を検討することが求められる。どのような結論を採用するかは評価に影響しないが、結論を導くための根拠が示され、また、論理的に整合した論述がなされているかが重要となる。

以　上